

地域医療支援病院業務報告書

令和3年10月4日

山口県知事 様

郵便番号 745-8522

申請者 住 所 山口県周南市孝田町1番1号

氏 名 独立行政法人地域医療機能推進機構

徳山中央病院 院長 沼 文隆

(電 話 0834-28-4411)



下記のとおり令和2年度の業務について、医療法第12条の2第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

名 称	独立行政法人地域医療機能推進機構 徳山中央病院												
所 在 地	山口県周南市孝田町1番1号												
許 可 病 床 数	一般病床		療養病床		結核病床		感染症病床		精神病床		計		
	室	床	室	床	室	床	室	床	室	床	室	床	
	267	507					12	12			279	519	
地域医療 支援病院 の法定施 設	区 分		構 造 設 備 の 概 要										
	集 中 治 療 室		主な設備 【別紙1のとおり】 ICU: 10床、NICU: 12床 合計22床										
	化 学 検 査 室		主な設備【別紙2のとおり】										
	細 菌 検 査 室		主な設備【別紙2のとおり】										
	病 理 検 査 室		主な設備【別紙2のとおり】										
	病 理 解 剖 室		主な設備【別紙2のとおり】										
	研 究 室		図書室と共用										
	講 義 室		室数 6室		収容定員 466人								
	図 書 室		室数 2室 ○ 机、椅子、文献検索用パソコン6台 ・Medical-Online 検索: 外国誌200冊、国内誌500冊 ・Up-To-Date 検索: 460の医学専門誌からの論文検索 ・医学中央雑誌Web 検索: 5000の雑誌、750万の論文 ○ 蔵書数 国内図書500冊、国外図書100冊 ○ 図書等購入費 図書、雑誌 約1000万円										
	救急用又は患者 輸送用自動車		主な設備 患者搬送用ストレッチャー、酸素ボンベ、 心電図モニター、搬送用保育器、輸液ポンプ、 救急車 保有台数 1台										
医薬品情報管理 室		専用室の場合		床面積		17㎡							
		共用室の場合		室と共用									



紹介患者 に対する 医療提供 等	初診患者数 ①	紹介患者数 ②	逆紹介患者数 ③	地域医療支援 病院紹介率 $\frac{②}{①} \times 100$	地域医療支援 病院逆紹介率 $\frac{③}{①} \times 100$	
	13,275人	9,703人	13,716人	73.1%	103.3%	
算定期間		2020年4月1日から2021年3月31日まで				
共同利用	共同利用の実績		CT: 2,308件、MRI: 993件 PET: 133件、RI: 311件 骨塩定量検査: 40件 合計: 3,785件			
	共同利用の範囲		・診察室、処置室 ・CT、MRI、PET、RI、骨塩定量検査 ・臨床検査機器(化学、細菌、病理検査室)			
	共同利用について 定めた規程の有無		有 ・ 無			
	利用医師等登録制 度の担当者		職 種	地域連携室		
			氏 名	中村 早希		
登録 医 療 機 関	名 称	開設者の氏 名又は名称	開設者の 住所又は 所在地	主たる 診療 科目	報告者との 経営上の 関係	
	100 医療機関 (登録医師数 106名)	【別紙3のとおり】				
常時共同利用可能な病床数			11 床			

		職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
救急医療 の提供	重症救急患者の受入れに対応した医療従事者	【別紙4のとおり】				
	重症救急患者のための病床	優先的に使用した病床			22床	
		専用病床			・救命救急センター 25床 ・集中治療室 5床	
	重症救急患者に必要な検査又は治療を行った診療施設	区分	床面積	設備の概要	24時間使用の可否	
		救命救急センター	474 ^{m²}	ベッド25床他	可	
		集中治療室	917	ベッド10床他	可	
		新生児集中治療室	135	保育器12台他	可	
		救急外来	373	診察室3、処置室2、ベッド4他	可	
		検査室	588	自動血液分析装置 自動生化学分析装置 自動免疫分析装置他	可	
		内視鏡室	91	緊急内視鏡室他	可	
放射線室		2559	X-P、CT、MRI 他	可		
手術室		1617	救外1室、他9室	可		
調剤室		243	全自動錠剤分包機 自動散薬分包機 他	可		
重症救急患者を24時間体制で受け入れた診療科目			循環器内科、消化器内科、小児科、外科、心臓血管外科、救急科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、血液内科			
救急病院の認定状況及び救急医療の実施状況			<input type="radio"/> 救命救急センター <input type="radio"/> 病院群輪番制病院 <input type="radio"/> 地域周産期母子医療センター <input type="radio"/> 小児救急医療拠点病院			
救急医療の提供の実績	救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者の数			4,682人 (うち入院を要した患者の数 2,166人)		
	その他の救急患者の数			11,011人 (うち入院を要した患者の数 3,739人)		
	計			15,693人 (うち入院を要した患者の数 5,905人)		

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修	研修内容	【別紙5のとおり】				
	研修実施回数	回				
	研修生の数	人				
	研修プログラムの有無	○有 ・ 無				
	研修委員会の設置の有無	○有 ・ 無				
	研修指導者	氏名	職種	診療科目	役職等	臨床経験年数
		【別紙6のとおり】				
	研修を実施した施設	区分	床面積	設備の概要		
		本館11階 大会議室	370 m ²	スクリーン、プロジェクター、パソコン、レーザーポインター 演台2台、マイクスタンド4本、音響設備、ラインマイク2本、ワイヤレスマイク4本、会議用机70台、椅子230脚		
		本館8階 会議室1	52	会議用机10台、椅子30脚 ※ 各会議室には、パソコン（インターネット、電子加算システム使用可） プロジェクター、スクリーン、ポインターの貸出しが可能		
本館8階 会議室2		146	会議用机20台、椅子60脚 ※ 同上			
本館8階 会議室3		39	会議用机8台、椅子16脚 ※ 同上			
本館8階 多目的ホール 研修室		527	ALS シミュレーターシステム、気道管理トレーナー 会議用机20台 椅子40脚 ※ 同上			
西館3階 会議室		150	スクリーン、マイク、音響設備 会議用机20台、椅子40脚 ※ 同上			

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	管理担当者の氏名	責任者	院長 沼文隆			
		その他の担当者	総務企画課 課長	野村 猛世		
		医事課 診療情報管理士	浅田 眞紀子			
		地域連携室 社会福祉士	吉田 侑平			
	診療に関する諸記録(病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等)	保管場所	総務企画課 地域連携室		分類方法	診療科 病棟 患者ID別
		区分	保管場所			
	病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績			総務企画課	
救急医療の提供の実績			総務企画課			
地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績			地域連携室			
閲覧実績			総務企画課			
紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする書類			総務企画課			
診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧	閲覧担当者の氏名	責任者	副院長 三井 博			
		その他の担当者	医事課長 矢橋 洋一			
	閲覧場所	登録医師控室				
	閲覧手続	医事課				
	閲覧件数	医師	0 件			
		歯科医師	0 件			
		地方公共団体	0 件			
その他		0 件				
計		0 件				
医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催	開催回数	1 回				
	委員会における議論の概要	新型コロナウイルス感染症拡大及び当該患者受入れのため、開催が困難でありました。 書面にて、共同利用の実施や救急医療の提供等について審議しております。 感染状況が落ち着くようであれば、開催いたします。				

患者相談	患者相談を行う場所	医療相談室の面談室	
	主な担当者	看護師3名、社会福祉士6名、事務4名	
	相談件数	10,359件	
	相談の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・転院調整援助 1,486件 ・退院調整援助 579件 ・受診・入院相談 2,040件 ・治療・療養相談 861件 ・経済的相談 690件 ・心理相談 540件 ・社会生活相談 423件 ・医療情報提供 3,740件 	
その他の地域医療支援病院に求められる取組	病院の機能に関する評価	評価の有無	○有 ・ 無
		評価を行った機関名	公益財団法人 日本医療機能評価機構
		評価を受けた時期	平成30年11月
	病院の果たしている役割に関する情報発信	情報発信の有無	○有 ・ 無
		情報発信の方法及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介方法等についてホームページに掲載。 ・地域連絡協議会を設置して、自治会、医師会、他病院、行政等と連携・協議の実施。
	退院調整	退院調整部門の有無	○有 ・ 無
		退院調整の概要	継続治療が必要な時は、適切な療養先（病院または施設）に退院（転院）を調整・支援。
	地域連携の促進	地域連携クリティカルパスの策定の有無	○有 ・ 無
		地域連携クリティカルパスの種類及び内容	脳卒中・大腿骨頸部骨折
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組の概要		周南医療圏の病院等と会議をおこない、使用率向上について協議した。	

注 1 報告者の住所及び氏名は、法人にあつては、その主たる事務所の所在地並びに名称及び代表者の氏名を記入すること。

2 報告者の氏名を自署したときは、押印することを要しないこと。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。